

AVX-P505

取付説明書



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

© パイオニア株式会社 1998

< 98A00F0A01 > < CRA2499-A >

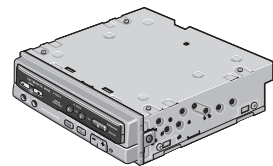
車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

接続・取り付け部品を確認する

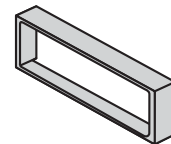
本体関係



① 5.5型 AV システム TV
本体 × 1



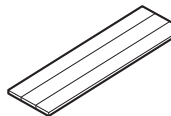
② バインドネジ
(5 × 6 mm) × 4



④ 化粧パネル × 1

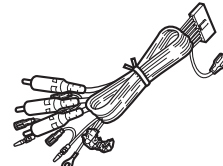


③ 皿ネジ
(5 × 6 mm) × 4



⑤ 両面テープ
(3連) × 1

コード関係



⑥ 電源コード × 1

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

赤リード線 (アクセサリ電源) は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

青/黄リード線 (パーキングブレーキスイッチ) は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないとテレビやビデオの映像を見ることができなくなります。

接続のポイント

IP-BUSの接続について

IP-BUS 端子と IP-BUS ケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。)

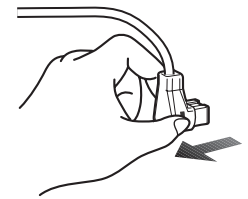
電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクタの着脱のしかた

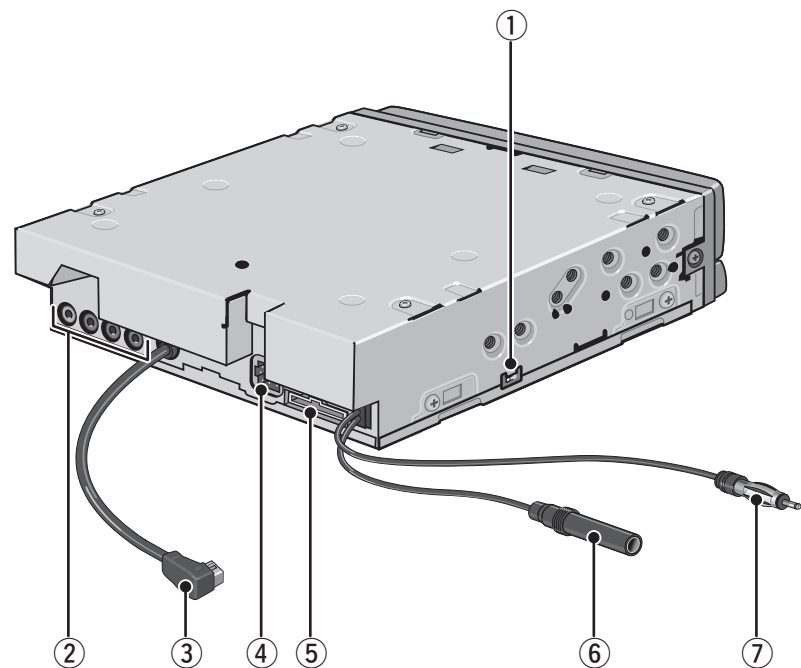
コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

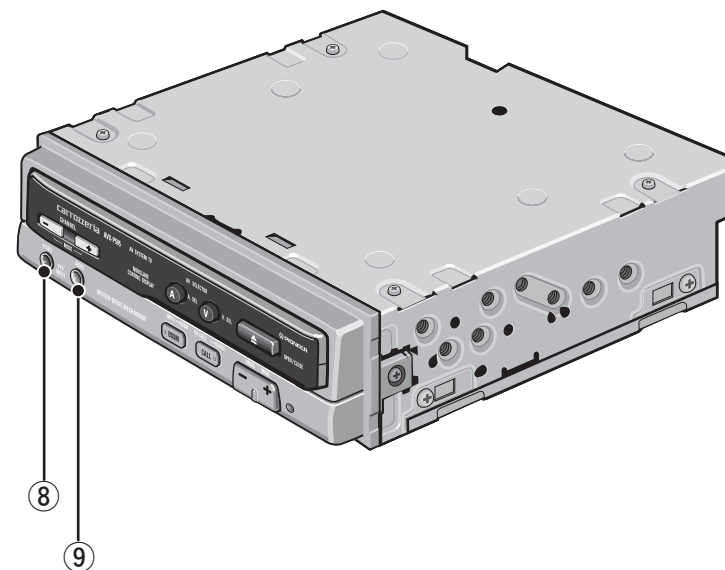


接続端子のなまえと働き

側面と背面



正面



最初に使用するシステムを選んでください
本機と組み合わせるカーステレオに、IP-BUS入力があるかないかで、モードが決まります。

パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合 (IP-BUS入力あり)

IP-BUSモードにします。(👉 ①)

音声は、メインユニットのテレビソースから出力されます。

操作は、本機とメインユニットで行います。

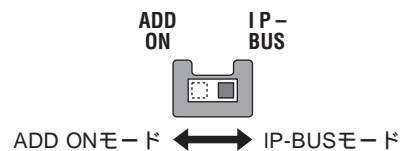
お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合 (IP-BUS入力なし)

ADD ONモードにします。(👉 ①)

音声は、カーステレオのラジオのFMから出力されます。

操作は、すべて本機で行います。

- ① モード切り換えスイッチ
ボールペンの先などで、スイッチを切り換えてください。



- ② TVアンテナ接続端子1 ~ 4
別売のダイバーシティTVアンテナ (例:「AN-GT4」) を接続します。

端子1 (緑色の端子) に接続したアンテナが優先されます。必ず端子1には、アンテナを接続してください。

- ③ IP-BUS出力 (青)
IP-BUSモードで使用するとき、パイオニア製のメインユニットの、IP-BUS入力に接続します。

本機をADD ONモードで使用するとき、何も接続しないでください。

- ④ IP-BUS入力 (青)
IP-BUSモードで使用するとき、パイオニア製のIP-BUS出力がある製品 (例: マルチCDプレーヤー「CDX-P630S」) を接続します。

本機をADD ONモードで使用するとき、何も接続しないでください。

- ⑤ 電源
付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。

- ⑥ アンテナ入力
ADD ONモードで使用するとき、車載アンテナを接続します。

本機をIP-BUSモードで使用するとき、何も接続しないでください。

- ⑦ アンテナ出力
ADD ONモードで使用するとき、カーステレオのアンテナ入力に接続します。

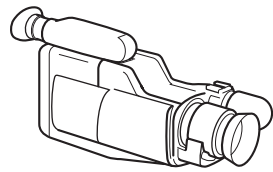
本機をIP-BUSモードで使用するとき、何も接続しないでください。

- ⑧ ビデオ入力
⑨ オーディオ入力
8 mmビデオやポータブルビデオなどを接続することができます。(👉 ビデオの接続)

ビデオの接続

8 mm ビデオやポータブルビデオを接続すると、その映像や音声を楽しむことができます。

8 mm ビデオやポータブルビデオ



音声出力へ
映像出力へ

市販の変換コード
(RCAピンプラグ [黄]
→ 3.5 ミニプラグ)

市販の変換コード
(RCAピンプラグ [赤・白]
→ 3.5 ステレオミニプラグ)

① 5.5型AVシステムTV本体



ビデオ入力

オーディオ入力

注：本機に接続する変換コードの端子には、なるべく小さめの3.5ミニプラグのストレートタイプを使用してください。L字タイプの端子や大型の端子は、モニター部の立ち上げ/収納の妨げになる可能性があります。

メモ

接続するビデオの端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。

ビデオを接続するときは、本機およびビデオの電源をOFFにしてから接続してください。

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

ノイズ防止のために

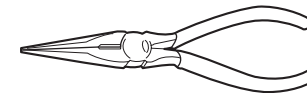
アンテナコードは、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して取り付けてください。

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、AM放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの説明書に従って正しく取り付けてください。

取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

取り付け工具



ラジオペンチ



プラスドライバー



カッターナイフ

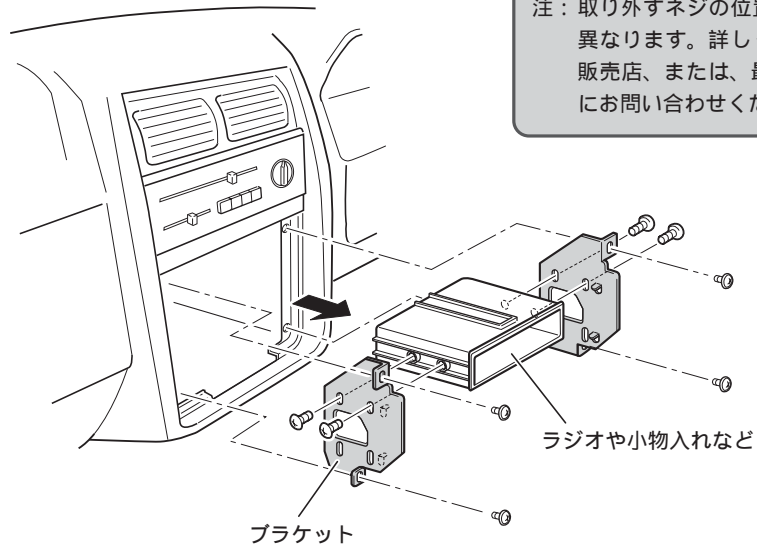
取り付ける

取り付け例 (トヨタ車、日産車への取り付け)

1 車側のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

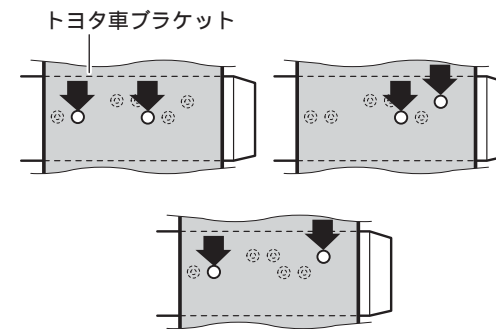
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。



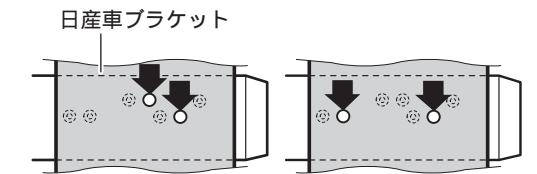
2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

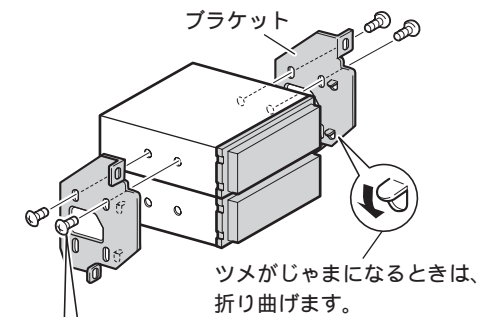


日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



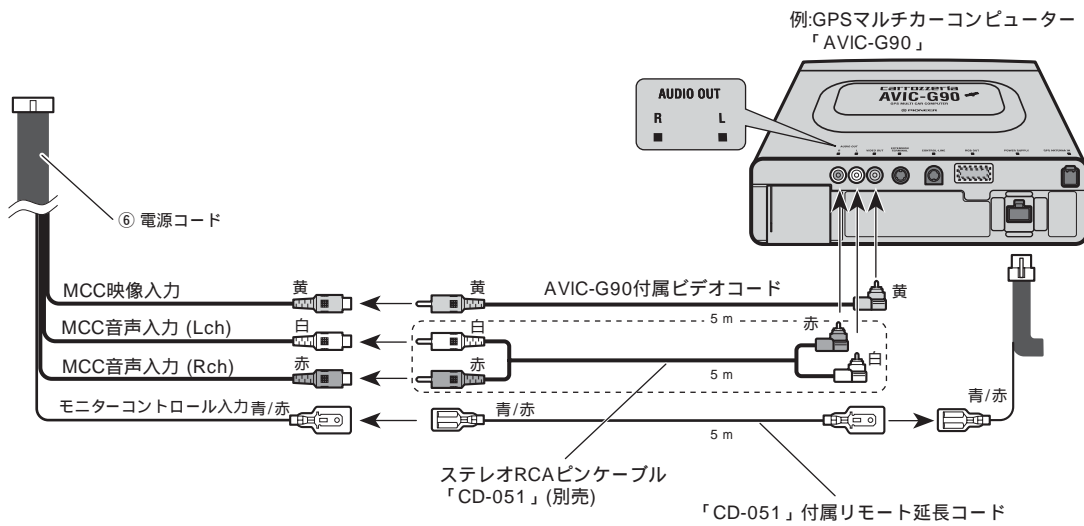
② バインドネジ (5 × 6 mm) × 4
③ 皿ネジ (5 × 6 mm) × 4
ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためたり、モニター部が立ち上がらなくなることがあります。

MCC 音声入力端子について

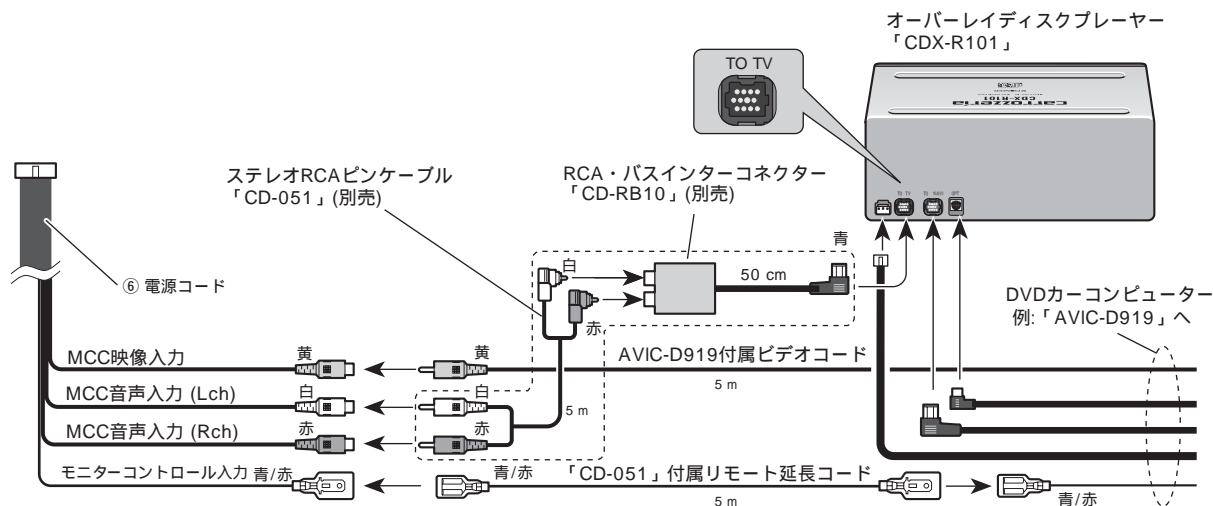
本機のMCC音声入力端子に、音楽用CDが再生可能なGPSカーコンピュータ「例:AVIC-G90」や、オーバーレイディスクプレーヤー「例:CDX-R101」などのステレオ音声出力を接続することにより、MCC音声ソースとしてカーステレオのスピーカーから音楽用CDなどの音を聞く事ができます。(但し、他のソースの音とのミキシングや割り込みはできません)

音楽用CDが再生可能なGPSカーコンピュータのCDの音を入力する場合



音楽用CDが再生可能なGPSカーコンピュータには、AVIC-G90/AVIC-G8/AVIC-G9/AVIC-G70/AVIC-G7II/AVIC-G7などがありません。

オーバーレイディスクプレーヤーの音楽用CDの音を入力する場合



本機をIP-BUSモードでお使いの場合で、マルチCDプレーヤーなどIP-BUS入力機器を併用接続しない場合は、オーバーレイディスクプレーヤーの音楽用CDの音をIP-BUS入力端子へAUX入力する事もできます。(取扱説明書)

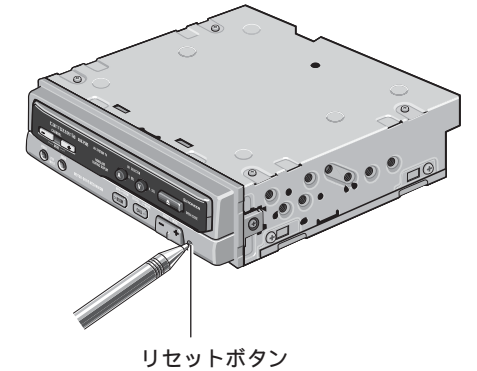
接続・取り付けが終わったら、動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

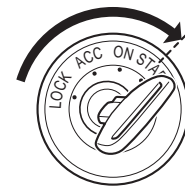
接続・取り付けに誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

3 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



2 車のエンジンをかける

4 本機の動作を確認する (取扱説明書)



取り付け上のご注意

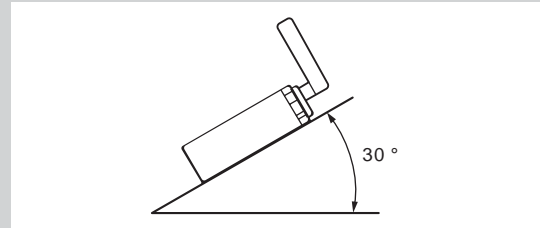
必ず付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためたり、モニター部が立ち上がらなくなることがあります。

本機とカーステレオを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けてください。本機を下に取り付けると、モニター部が立ち上がったときに、カーステレオの操作ボタンを隠してしまい、カーステレオの操作の妨げになります。

車種によっては、モニター部が立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。

車種によっては、モニター部がコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニター部の角度を上向きに調節できない場合があります。

本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

本機の奥行きは、カーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付けてください。

例：日産車の場合

	タイプ 1	タイプ 2
通常のネジ穴を使用する場合	<p>日産車ブラケット</p>	
後側のネジ穴を使用する場合		

ネジ穴を後側にずらして取り付け場合は、付属の化粧パネルを本機前面に取り付けます。

